

2月24日（月）

ギルアデの乳香*

*編注：乳香とは樹脂で、香や香水に使用される。また、薬として用いられる。
ギルアデの乳香には癒しがある。

聖書朗読 ローマ人への手紙 8：35～39

どうか、朝には、あなたの恵みで私たちを満ち足らせ、私たちのすべての日に、
喜び歌い、楽しむようにしてください。 詩篇 90：14

ある小さな男の子が高いまっすぐな松の木に登ろうとして胸とお腹を大きく擦りむいた話を聞きました。足を滑らせて、ひとかかえもある幹の上から下まで滑り落ちてしまいました。ショック状態がおさまり泣き止んだとき、その男の子は両親に一言、「でも、かさぶたを剥くのは好きだからよかった」と言ったそうです。

人生は泥沼でイライラすることばかりです。次から次へと問題が起こり、失敗すると悲しくなって辛くなります。対立は傷跡を家族の中や人々の心の中に残します。慰めや励ましは長続きしません。私たちはすぐ疑い愚痴をこぼします。しかし、神様は、私たちのプライドによる失敗においても、神様による備えを信じさせてくださいます。神様は私たちの欠けを治し、私たちの罪に悩む心を満たしてくださるのです。

イエス様は『すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。』（ヨハネ 11:28～29）とおっしゃいました。どうか私たちが神様による安らぎと希望を見つけることができますように。

教会福音讃美歌 429 ギルアデの乳香

祈り 父なる神様、私たちの希望をあなたに置いて、あなたのみ恵みが日常生活において平安と喜びの源でありますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。



カリフォルニア州 マリブ / ルーシー・ペラン

今日の力

2025年2月24日～3月2日

翻訳 松浦 言

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

2月25日（火）

最後の住まい

聖書朗読 コリント人への手紙 第一 2：6～16

わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。

ヨハネ 14：3

最近テネシー州ナッシュビルからアーカンソー州サーシーに引越しをしたのですが、古い家の売却と新しい家の購入にかかる費用に、私と私の妻は驚愕しました。二人とも不動産屋で、手数料や関連経費に関する経験は山ほどありましたが、それでも総額には衝撃を受けました。一部ですが、頭金、手数料、書類作成費、貸付料金、代理人費用、財産所有権調査費用および発行手数料、記録手数料、条件付捺印証書、郡税、州税、資産鑑定費用、調査費用等々。終わりが見えず、あっという間に出費が嵩んでいきます。しかも、これはペンキや新しい芝刈り機、水回りのタイル、交換が必要な家電を購入する前の話です。

引越しすることは心に決めていたのですが、費用を見るたびに決心が揺らぎそうになりました。言うまでもなく、これが人生最後の引越しだと決意しました。厳密に言えば、最後から2番目の引越しです。天にある私たちの最後の住まいは、すでにすべての費用を前納で肩代わりしてもらって、用意されているのです。私たちはその家に住むために、何の支払いも、変更、更新、交換する必要もありません。なんという安心でしょう。なんという場所でしょう。なんという約束でしょう！私たちが属するその場所に早く行きたくてたまらなくなりますね。その場所こそが私たちの真の“我が家”なのです。

讃美歌 488 はるかにあおぎみる

祈り 聖なる父よ、御子イエス様の犠牲によって与えられた贖いの恵みへの感

謝は言葉では言い表せません。私たちは、イエス様の再臨と、人間の手に

よらぬ終つひの棲家すまいかで、あなたと永遠に住むことを待ち望みます。イエス様の

御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

アーカンソー州 サーシー / ジョー・デイビッド・キース

2月26日（水）

神の御前にいる

聖書朗読 コリント人への手紙 第一 7：17～24

兄弟たち。おのおの召されたときのままの状態、神の御前にいなさい。

コリント I 7：24

私は常にもっと欲しいと思う人間でした。小さい時はもっとたくさんの友達が欲しいと思っていました。学校で良い成績を取れば表彰されるということを知った時、宿題を頑張るようになりました。大学ではスポーツ以外のすべてにおいて完璧でありたいと思っていました。スポーツはいくら頑張っても上手にならないと分かっていたので諦めました。母親になると、子どもたちに広い庭、良い家、良い教育など、もっと良いものを与えたいと思うようになりました。自分に対しても、常に痩せていて、愛想の良い人であろうと努力してきました。

パウロはコリント教会がおかれている様々な状況について述べています。彼らには、よくアメリカ人の生き方と称される上昇志向はありませんでした。パウロは現代のクリスチャンに対して、自分のおかれている状況を変えていくことを止めないと思います。但し、私たちが神様の御前に居続ければです。パウロは、神様との関係を第一にし、神様の栄光を現わすことこそが私たちの生きる目的なのだと強調しました。パウロは私たちが何者であっても、何をしても、表面的な状況は重要ではなく、何があっても神様のために生きるべきだと知るよう求めています。

私たちはより良くあること、多くの成果を上げること、多くを得ることに執着しなくてもよいのです。神様は私たちを神様のものとしてお造りになりました。私たちは、神様に身をゆだね、神様が私たちを通して栄光を示されることを望むことができます。私たちにとって一番大切なのは神様を追い求めることなのです。

聖歌 259 きみはわれのまぼろし

祈り 神様、どうか私たちが、あなたが私たちを造られた姿で居続けることがで

きますように。私たちの心を開き、私たちを変えてください。私たちがあなたの

御前にいて、あなたの愛と恵みをすべての人に示す生き方ができますよ

うに。イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

テキサス州 ラボック / ケイリー・アイフ

2月27日（木）

出演依頼

聖書朗読 コリント人への手紙 第一 12：12～27

大ぜいいる私たちも、キリストにあって一つのからだであり、ひとりひとり互いに器官なのです。ローマ 12：5

ある日、〈出演依頼〉という件名のメールを受け取りました。私はとても興奮しました。ある映画のエキストラ*（*編注：テレビドラマや映画などで、通行人・群集などを演じる出演者）として出演のオファーがきたのです。映画の撮影現場に

1日いる中で、どれだけ多くの人が2・3分ののシーンを撮影するのに関わっているのかわかりとても驚きました。俳優・スタッフ・エキストラ、すべての人に役割がありました。

この経験を通して、私は教会のあり方について考えました。教会にはたくさんの方がいますが、それぞれが神の国の一部として必要な役を与えられています。コリント I 12：27でパウロは『あなたがたはキリストのからだであって、ひとりひとは各器官なのです。』と書いています。神様のからだの一部として、神様はあなたにも役割を与えられています。『私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。』（エペソ 2:10)

神様は神の国においてあなたに一番合った、あなたにしかできない役割を与えてくださっています。あなたは自分に与えられた役割を知っていますか。もし、まだ分からないのであれば、神様が思い描かれているあなたの役割を示してくださるよう祈りましょう。神様を信じて！何と言っても、神様があなたを造られたのですから。

讃美歌 191 いともとうとき 主はくだりて

祈り 主よ、私にあなたの御国での役割を示してください。あなたの召しに従うことができるよう助けてください。あなたが与えてくださった役目を私が果たすことができますように。イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

インディアナ州 ラ・ポート / シェリル・ベイカー

2月28日（金）

福音

聖書朗読 コリント人への手紙 第一 15：1～3

ここにはおられません。よみがえられたのです。まだガリラヤにおられたころ、お話しになったことを思い出さない。人の子は必ず罪人らの手に引き渡され、十字架につけられ、三日目によみがえらなければならない、と言われたでしょう。」

ルカ 24：6～7

私たちは毎週、イエス様の死をおぼえます。聖餐にあずかる際、よくイエス様の犠牲をおぼえる讃美歌を歌います。しかし、私はその後の復活に急いで目を向けたがる傾向があります。あなたも、もしかしたらそうかもしれません。

多くの人と同じように、イエス様もお墓に埋葬されました。イエス様のお墓は、優秀な番兵によって、遺体が盗まれることがないように守られていました。しかし、三日目にその墓は空っぽになりました。イエス様は墓の中から歩いて出られたのです。イエス様の死、埋葬そして復活は、私たちのイエス様による永遠の希望の一部なのです。

イエス様の死は、そこに復活という実証がなければ、一般的な死となったことでしょう。イエス様が弟子たちと再会したこと、復活こそが、イエス様が神であることを証明したのです。この事実こそが全世界への福音です。

主イエスの勝利に 死のとげ折られて

とうとい血潮は 私をあがなう

—スチュアート・タウンエンド詞、キース・ゲッティ曲《In Christ

Alone》

教会福音讃美歌 359 《わたしの望みは》より—

讃美歌 II 190 み墓ふかく

祈り 父なる神様、私たちに希望を与える、この栄光の福音に感謝いたします。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

テネシー州 スプリングヒル / デイル・ジェンキンス



3月1日（土）

日々新たに

聖書朗読 コリント人への手紙 第二 4：7～18

ですから、私たちは勇気を失いません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。 コリントⅡ 4：16

今となっては、私たちにとって誕生日や年齢は、冗談にしたり、隠したり、焦りを感じ

させたりするものです。しかし、どんなに抗^{あらが}っても毎年やってくるものです。年を取るにつれて、私たちは、髪が生え際、腰回りそして時間経過を気にします。私は自分の子どもがもう大人であることに驚きます。時が経つのはなんと速いことでしょうか。

パウロはこの聖句で私たちに、出来ていたことが出来なくなったり、思い描いていたことを達成することができなくなったりしたからといって、鏡を見続け、過去にとらわれて落胆するのを止めるようにすすめています。そのかわり、神様が今、私たちのうちで何をしておられるのかに目を向けるのです。神様はご自分のものである私たちに偉大なわざをなすことのできるお方です。私たちが自分の生き方を見出せなくても、神様は私たちをご自身の栄光を現わすために用いられます。神様は、私たちが受けられる最高の恵みである、主にある永遠のいのちのために整えてくださっているのです。

私の友達で人生を謳歌している人がいます。彼のモットーは、“今年が人生最高の年だ”です。私たちの信仰生活のモットーは、以下の詩篇作者のものと同じでしょう。『これは、主が設けられた日である。この日を楽しみ喜ぼう。』（詩篇 118:24）

讃美歌 352 あめなるよろこび

祈り 父なる神様、この世の痛みから解放される、永遠の約束と希望に感謝

します。新しい天上のからだを受けることを待ち望みます。私たちがこの世の光となれるよう力を与えてください。イエス様の御名によって、お祈りします。アーメン。

カリフォルニア州 バイセイリア / デイビッド・ベリー

3月2日（日）

神様の雨量計

聖書朗読 コリント人への手紙 第二 9：1～6

十分の一をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ。こうしてわたしをためしてみよ。一万軍の主は仰せられる―わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかをためしてみよ。 マラキ 3：10

旧約聖書の民数記 18:1～32、申命記 14:22～15:11、歴代誌Ⅰ 29:14～19 は、ささげ物について書いています。イスラエルの献金方法である“十分の一献金”は、礼拝を取り仕切るレビ人の働きを支えるため、交わりのため、やもめや孤児、在留異国人の支援に用いられました。十分の一というのは、農民達にとって収穫の十分の一という意味ですが、エルサレムへの献金、村への献金、貧しい人への支援が重なると、すぐに十分の一を超えてしまいます。それではなぜ“十分の一”にこだわったのでしょうか。

“十分の一献金”というのは雨量計のようなものです。私たちの心の中にあるものを計るのです。献金は神殿に仕えるレビ人を支えるためのものであり、恒例の祭りに集まる人々の食事を用意するためのものでした。また、被災者や貧しさに苦しむ人々をコミュニティ全体で助けるために用いられました。全てはこの“十分の一献金”を使って行われたのです。

“十分の一献金”を助けを必要としている人のために用いることは、神様へのささげ物を減らすことではなく、すべて神様に仕える心から行われたものでした。人々が神様の呼びかけに応答するとき、神様は天の窓を開き祝福を降り注いでくださいます。どうか私たちのささげ物が神様に栄光を帰すものとなりますように。

聖歌 384 すべてのめぐみの

祈り 神様、私達に純粋な心を与えてください。イエス様のように、助けを必要としている人々に目を向け応じることが出来ますように。イエス様の御名によって、お祈りします。アーメン。

オクラホマ州 エドモンド / ハロルド・シャンク